

こども家庭庁入札等監視委員会  
令和5年度第1回 議事録概要

開催日及び場所	令和6年3月1日(金)15:00~16:10 こども家庭庁入札室
委員	委員長：石黒 徹（公認会計士） 委員：三浦 繁樹（弁護士） 委員：伊藤 耕一郎（公認会計士）
議事	令和5年度上半期の契約に係る審議

令和5年度上半期の契約に係る審議

審議対象期間	令和5年4月1日~令和5年9月30日	
対象案件の説明	<p>○対象期間における契約の全体（競争入札案件23件、企画競争案件10件）について事務局から説明。</p> <p>○審議案件抽出等の考え方について、委員長から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案者が1社となった一般競争（総合評価）について、理由及び改善の余地がないかを確認する。</li> <li>・低入札となった案件について、理由及び履行状況を確認する。</li> <li>・提案者が1社となった企画競争について、理由及び改善の余地がないかを確認する。</li> <li>・不落随契となった背景について確認する。</li> </ul> <p>各案件におけるそれぞれの抽出理由については以下のとおり。</p>	
一般競争入札 （総合評価落札方式）	<p>（関心事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1者応札となった理由は</li> <li>・開札の結果、予定価格とかなり近い価格での落札となった理由は</li> </ul>	<p>契約件名：「こどもまんなかアクション」におけるLINEを活用した情報発信に係る企画・運営業務</p> <p>契約相手：株式会社電通デジタル</p> <p>契約金額：13,750,000円</p> <p>契約日：令和5年7月5日</p> <p>担当部局：長官官房総務課総合政策 少子化対策室</p>
一般競争入札 （最低価格落札方式）	<p>（関心事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札となった理由は</li> </ul>	<p>契約件名：令和5年度動画撮影編集業務</p> <p>契約相手：株式会社Swimmy</p> <p>契約金額：385,000円</p> <p>契約日：令和5年7月18日</p> <p>担当部局：長官官房総務課 広報・報道係</p>
随意契約 （企画競争方式）	<p>（関心事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1者からしか提案がなかった理由は</li> </ul>	<p>契約件名：こどもまんなか社会実現プラットフォーム（仮称）設立準備等事業</p> <p>契約相手：一般社団法人RCF</p> <p>契約金額：22,698,000円</p> <p>契約日：令和5年7月20日</p> <p>担当部局：長官官房総務課総合政策</p>
随意契約 （不落・不調随契）	<p>（関心事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不落随契となった理由は</li> </ul>	<p>契約件名：出生前検査認証制度等啓発事業</p> <p>契約相手：株式会社オズマピーアール</p> <p>契約金額：37,400,000円</p> <p>契約日：令和5年6月22日</p> <p>担当部局：成育局母子保健課</p>
委員からの意見・質問に対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	再委託及び共同事業者での参加の場合において、そのうちの1者が本条件を満たせば参入が可能ならば、仕様書にしっかりと明示しておいた方が良い。	
その他記載事項	なし	

質問（※・意見）	回答
抽出番号1：「こどもまんなかアクション」におけるLINEを活用した情報発信に係る企画・運営業務	
<p>・1者しか入札がなかった理由についてはどのように考えているか。</p> <p>・見積もりを徴取した会社は全部で何者分だったのか。</p> <p>・今回の仕様書上の受注条件を満たす会社はどれくらいあるのか。</p> <p><u>意見：再委託及び共同事業体での参加の場合において、そのうちの1者が本条件を満たせば参入が可能ならば、仕様書に明示しておいた方が良いのではないか。</u></p> <p>・受注条件の1つに「類似業務を複数件受けている実績が（過去1年間に）ないといけない」ことになっているが、この要件が新規参入を阻害しているのでは。</p>	<p>・参考見積は提出してくれたが、入札に参加しなかった業者2者に確認したが、両社とも人材の確保が困難という回答だった。実施体制が確保できないようだった。</p> <p>・3者分である。</p> <p>・「LINE Planning Partner又はLINE Govtech Partnerの認定」に係る受託条件についていえば、2022年のGovtech Partnerは9者のようであり、Planning Partnerを加えれば受託条件を満たす会社はもっと多い。また、仕様書をよく読めば、再委託先が本条件を満たしていれば参入可能と読み取れるよう記載している。</p> <p>・今回の案件ではこども家庭庁の事業内容的に初めての取組であったことから、確実性を担保するために、本条件をつけた。ただ、新規参入の妨げになることから、本条件をつけるかの必要性は慎重に判断しているところ。</p>
抽出番号2：令和5年度動画撮影編集業務	
<p>・結果的に低入札となった理由はどのように考えているか。</p> <p>・仕様書の書き方が曖昧とは具体的には。</p> <p>・履行してもらった業務の質はこども家庭庁の想定していたものと乖離はなかったか。</p>	<p>・今、考えると仕様書の書き方が曖昧だったと考えている。入札公告を行う前に（こちらの認識する金額の規模間と乖離がないかを把握するために）参考見積を（2者）もらったが、そのうちの1者は準備室にて令和4年度に類似業務を少額随契で行っていたこともあり、結果として2者とも参考見積書として採用したが、（たまたま準備室の事例があったため今回の仕様書でもこちらの意図をくみ取れただけだったかもしれない。）開札の結果として、かなり入札金額に幅が出ってしまった。</p> <p>・仕様書における内容の項目について、動画撮影日数と本数しか記載していないが、これに映像を合わせることで、テロップを入れる、一度こども家庭庁に出して確認して何回か往復する等の情報が記載されていなかった。そこで（入札金額に）差が出たと反省していきたい。令和6年度以降、同様の発注を行う場合は、仕様書に細かく明示したい。</p> <p>・乖離はなかった。こちらの求めている内容についてはきちんと行ってくれた。</p>
抽出番号3：こどもまんなか社会実現プラットフォーム（仮称）設立準備等事業	
<p>・1者しか応募がなかった理由についてはどのように考えているか。</p> <p>・今後、どうすれば応募業者が増えていきそうか。</p>	<p>・実施体制も含め、新しい試みであったことから、担当としても試行錯誤した上で、公募をしていたつもりだが、後になって振り返ってみると参加への条件がきつかったところもあったと思う。次の年度ではもう少し(条件を)緩和して、いろいろな方が入るようにしていきたい。</p> <p>・こちらとしても悩んでいるところだが、(今年度)入札説明会を実施したところ5者来てくれていた。それなのに、応募が1者しかないというのは、興味を持ってくれた業者自体はあるが内容が難しい(参加への条件がきつい)ということなので、今後改善していきたい。</p>
抽出番号4：出生前検査認証制度等啓発事業	
<p>・今回、不落随契となっているが、考えられる理由を教えてください。</p> <p>・前年度は公募型補助事業ということだが、前年度からの相違点は記載しなかったのか。</p> <p>・今年度の契約金額は公表されるのか。</p>	<p>・本事業は令和4年度から公募型補助事業という形でスタートしているが、今年度から委託契約の方式を取っている。事業内容の見直しに伴い予算額も変動しているが、入札参加者が令和4年度補助事業の際の金額を参照し、入札書を入れてきたことが想定される。</p> <p>・前年度からの相違点という形で明示はしていないが、事業内容の変更点については、それぞれの仕様書をご確認いただければという認識であった。</p> <p>・今年度の数字は既にこども家庭庁のホームページに公表されている。</p>